

日本語能力試験N1対策

担当教員 蔣

修正日：2020.7.1

履修単位数：2

6月8日以降 AM:9:30~/PM:13:30~

授業スケジュール/計画

			AM	PM
1	5月14日	木		N1対策 (ZOOM)
2	5月16日	土	N1対策 (ZOOM)	
3	5月18日	月	N1対策 (ZOOM)	
4	5月21日	木		N1対策 (ZOOM)
5	5月25日	月	N1対策 (ZOOM)	
6	5月27日	水	N1対策 (ZOOM)	
7	5月28日	木		N1対策 (ZOOM)
8	5月30日	土	N1対策 (ZOOM)	
9	6月4日	木		N1対策 (ZOOM)
10	6月5日	金		N1対策 (ZOOM)
11	6月6日	土	N1対策 (ZOOM)	
12	6月15日	月	N1対策 (対面+ZOOM)	
13	6月20日	土	N1対策 (対面+ZOOM)	
14	6月22日	月	N1対策 (対面+ZOOM)	
15	6月27日	土	N1対策 (対面+ZOOM)	
16	6月29日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
17	7月6日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
18	7月13日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
19	7月25日	土	N1対策 (対面+ZOOM) (9時~302)	
20	8月1日	土	N1対策 (対面+ZOOM) (9時~402)	
21	8月10日	月	N1対策 (対面+ZOOM3) 701 (8月8日補講のため)	

学習目標

日本語能力試験を合格すること

予習・準備物

筆記用具

注意事項

取り組み姿勢による採点

評価方法

自主性を伴った授業出席で評価します。

観察力

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [] 修得単位：3単位

2020/6/9(火)-2020/8/11(火)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

観察力では単に描写力を鍛えるだけでなく、描くことを通して物事を深く見つめることのできる力を養っていきます。それはプロのクリエイターとして必要かつ重要なことです。じっくりと物と対話しながら描くことの面白さと大切さを学びます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1					○	リモート授業	自宅課題
2	6月9日	火	○	オリエンテーション・鉛筆デッサン(静物)	○	鉛筆デッサン(静物)	B3画用紙・鉛筆
3	6月16日	火	○	木炭デッサン(静物)	○	木炭デッサン(静物)	木炭紙・木炭
4	6月23日	火	○	木炭デッサン(静物)	○	木炭デッサン(静物)	木炭紙・木炭
5	6月30日	火	○	美術解剖学講座	○	人体クロッキー(男性)	木炭紙大クロッキー帳・コンテ
6	7月7日	火	○	美術解剖学講座	○	人体クロッキー(女性)	木炭紙大クロッキー帳・コンテ
7	7月14日	火	○	人体デッサン(男性座りポーズ)	○	人体デッサン(男性座りポーズ)	B3画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
8	7月21日	火	○	人体デッサン(女性寝ポーズ)	○	人体デッサン(女性寝ポーズ)	B3画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
9	7月28日	火	○	水彩描写(顔を描く)	○	水彩描写(顔を描く)	B3画用紙・水張りパネル・水彩
10	8月4日	火	○	基礎油画	○	基礎油画	F12号キャンバス・油彩
11	8月11日	火	○	基礎油画	○	基礎油画	F12号キャンバス・油彩

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

企画力

担当教員 岡山拓史

受講アトリエ [] 修得単位：1.5単位

2020/6/11(木)-2020/8/13(木)

13：30-16：30

授業内容

個人が企画やアイデアを求められる場面は現代社会では非常に多くなっています。企画力ではアイデアの出し方、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、実現力などクリエイティブの世界で必要となるスキルを課題制作を通して養います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1					○	自宅学習	
2	6月11日	木			○	オリエン / 課題制作A-1	
3	6月18日	木			○	課題制作A-2	
4	6月25日	木			○	課題制作A-3	
5	7月2日	木			○	発表	
6	7月9日	木			○	課題制作B-1	
7	7月16日	木			○	課題制作B-2	
8	7月23日	木			○	課題制作B-3	
9	7月30日	木			○	課題制作B-4	
10	8月6日	木			○	発表	
11	8月13日	木			○	講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

表現力

担当教員 飯田 淳

受講アトリエ [] 修得単位：1.5単位

2020/6/12(金)-2020/8/14(金)

13:30-16:30

授業内容

表現力は柔らかな発想のもと、物や事、ストーリーを色で表現する授業です。決めつけで物を作らず、固定概念に囚われない事。意外性のある課題を通して「自分の枠」を飛び越え、個性が重視されるイラストの世界に近づくための授業でもあります。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1					○	リモート授業	自宅課題
2	6月12日	金		日本美術史/英会話	○	制作	
3	6月19日	金		日本美術史/英会話	○	制作	
4	6月26日	金		日本美術史/英会話	○	制作	
5	7月3日	金		日本美術史/英会話	○	制作	
6	7月10日	金		日本美術史/英会話	○	制作	
7	7月17日	金		日本美術史/英会話	○	制作	
8	7月24日	金		日本美術史/英会話	○	制作	
9	7月31日	金		日本美術史/英会話	○	制作	
10	8月7日	金		日本美術史/英会話	○	制作	
11	8月14日	金		日本美術史/英会話	○	講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成員」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

課題ごとに指示する。

注意事項

出来る限り授業時間内に制作完成させること。

評価方法

課題提出と授業態度で評価する。

構成力・アートとデザインと社会

担当教員 山本哲次、田中北斗

受講アトリエ [] 修得単位：1.5単位

2020/6/10(水)-2020/8/12(水)

13：30-16：30

*アートとデザインと社会は6/11(木)、6/18(木)、6/25(木)にMac講座Aと1限、2限の入れ替え制で授業を行います。

授業内容

構成力は構図、レイアウトなど、組み立てる力をつける授業です。対象物をじっくり観察し、特徴を捉え、どういう構図やレイアウトがベストなのか、作品の分析や制作を通して身につけていきます。同時にデザインの考え方を学んでいく授業です。また、デザインと合わせ「アートとデザインと社会」について考え、企画立案～ディレクションについて実例を検証しながら学びます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1					○	リモート授業 シンボルマーク / (描写)	メール授業 (自宅学習課題)
2	6月10日	水		色彩論	○	シンボルマーク (観察・分析)	
3	6月11日	木	○	アートとデザインと社会			
4	6月17日	水		色彩論	○	シンボルマーク / 色面構成 (モノトーン)	
5	6月18日	木	○	アートとデザインと社会			
6	6月24日	水		色彩論	○	シンボルマーク / シンボルマーク制作	
7	6月25日	木	○	アートとデザインと社会			
8	7月1日	水		色彩論	○	シンボルマーク / 検証 / 評価	シンボルマーク講評
9	7月8日	水		色彩論	○	フライヤー / 分解・分析	
10	7月15日	水		色彩論	○	フライヤー / アイデアスケッチ	
11	7月22日	水		色彩論	○	フライヤー / 構築・表現	
12	7月29日	水		色彩論	○	フライヤー / 構築・表現	
13	8月5日	水		色彩論	○	フライヤー / 構築・表現	
14	8月12日	水		色彩論	○	フライヤー / 検証・評価	フライヤー講評・構成力総評

学習目標

将来活動をする上で基本の「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。基礎力をしっかり身に付けることで、2年、3年の専門課程ができるようになる。「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」の5つの力を学ぶ事によって苦手意識を克服し、もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。また、アートとデザインが社会の中でどのような役割を果たすことができるのか、企画立案から制作まで体験する。

予習・準備物

筆記用具・スケッチ用紙。その他は授業初日に説明します。

注意事項

1. 制作本来の目的を意識し、事前の準備をしっかり行いましょう。
2. 遅刻・欠席が無いように注意しましょう。
3. 提出物の期限を守りましょう。
4. アトリエはキレイに使いましょう。
5. 授業・課題制作を楽しみましょう。

評価方法

制作態度・積極性60% (課題作品の完成度はもちろん、演習を期限内に提出することを最低基準とします) 課題作品40%

伝統と現代

担当教員 小林大悟

受講アトリエ [] 修得単位：1.5単位

2020/6/13(土)-2020/10/24(土)

13:30-16:30

授業内容

日本における「伝統」「工芸」とは何か。ワークショップ形式の授業を交えながら様々な素材や題材に触れることで、今後の引き出しとなる経験を積んでいきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1					○	リモート授業	オンライン授業(youtube)
2	6月13日	土		日本語能力/フランス語	○	「日本画」絵の具に触れてみよう①共同制作	対面授業
3	6月20日	土		日本語能力/フランス語	○	「日本画」絵の具に触れてみよう②共同制作	対面授業
4	6月27日	土		日本語能力/フランス語	○	「日本画」絵の具に触れてみよう③技法紹介/プチ講評	対面授業
5	7月4日	土		日本語能力/フランス語	○	墨ワークショップ①グループワーク	対面授業
6	7月11日	土		日本語能力/フランス語	○	墨ワークショップ②個人制作	対面授業
7	7月18日	土		フランス語	○	うちわ制作①制作準備	オンライン授業(youtube)
8	7月25日	土		フランス語	○	うちわ制作②個人制作	対面授業
9	8月1日	土		フランス語	○	「日本画」絵の具と墨での制作①共同制作	対面授業
10	8月8日	土		フランス語	○	「日本画」絵の具と墨での制作②共同制作	対面授業
11	8月15日	土		フランス語	○	講評会	オンライン授業(Zoom)
12	9月5日	土		フランス語	○	銀箔ワークショップ①共同制作	対面授業
14	9月12日	土		フランス語	○	銀箔ワークショップ②個人制作	対面授業
15	10月17日	土		フランス語	○	発展ワークショップ①	対面授業
16	10月24日	土		フランス語	○	発展ワークショップ②	対面授業

学習目標

「日本美術」を題材に、ときに拡大解釈も混じえながら実技制作を行なっていきます。この授業で重きを置くのは技術習得や作品の出来上がりではなく、不慣れな画材を通じてそれぞれが実験・発見を積み上げていくことです。そのため前半では複数人での共同制作や鑑賞会といった少し変わった環境を織り交ぜ進めていきます。授業を通じ日本美術へと関心を持つきっかけをつくること、今後専門分野に分かれても応用していける引き出しをつくることを目指します。

予習・準備物

筆記用具、汚れても良い服装

注意事項

対面授業は進行状況を鑑みて、内容の前後や多少の変更もあります。（オンライン授業日は原則変更しません）

評価方法

参加意欲と授業態度を重視します。

前期ビジュアルデザイン科基礎

担当教員 山本哲次、岡山拓史

受講アトリエ [] 修得単位：1.5単位

2020/9/1(火)-2020/9/30(水)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

イラストや文字情報を限られたスペースの中に収めながら、音楽から受けるイメージを広げて、ビジュアルで表現することを学びます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
7	9月1日	火	○	オリエンテーション	○	制作	担当：山本・岡山
8	9月2日	水		色彩論	—	自主制作	-
9	9月3日	木		Mac講座A	○	制作	担当：岡山
10	9月4日	金		日本美術史 英会話	○	制作	担当：山本・岡山
11	9月5日	土		フランス語		伝統と現代	
12	9月6日	日					
13	9月7日	月		文章技法論/美術日本語	—	自主制作	-
14	9月8日	火	○	中間講評1 (岡山)	○	中間講評1 (岡山)	担当：岡山
15	9月9日	水		色彩論	○	制作	担当：山本
16	9月10日	木		Mac講座A	○	制作	担当：岡山
17	9月11日	金		日本美術史 英会話	—	自主制作	-
18	9月12日	土		フランス語		伝統と現代	
19	9月13日	日					
20	9月14日	月		文章技法論/美術日本語	—	自主制作	-
21	9月15日	火	○	制作	○	制作	担当：岡山
22	9月16日	水		色彩論	○	中間講評2 (山本)	担当：山本
23	9月17日	木		Mac講座A	○	制作	担当：岡山
24	9月18日	金		英会話		後期ガイダンス	
25	9月19日	土		創立記念日振替休日			
26	9月20日	日					
27	9月21日	月		敬老の日			
28	9月22日	火		秋分の日			
29	9月23日	水		色彩論	○	中間講評2 (山本)	担当：山本
30	9月24日	木		Mac講座A	○	制作	担当：岡山
31	9月25日	金		日本美術史 英会話	○	制作	担当：岡山
32	9月26日	土		フランス語	—	自主制作	-
33	9月27日	日					
34	9月28日	月		文章技法論/美術日本語	—	自主制作	-
35	9月29日	火	○	制作	○	制作	担当：岡山
36	9月30日	水	○	講評	○	講評	担当：山本・岡山

学習目標

○自分の好きなミュージシャンのCDジャケットとポスターをオリジナルで制作します。

予習・準備物

デザインしたいミュージシャンの選定

注意事項

メインビジュアルはオリジナルで描いたイラストを使用すること。
イラストには人を描かないこと。使用画材は自由。

評価方法

授業態度、中間講評1&2、講評での総合評価